

# 国の分散備蓄拠点の一つが三木総合防災公園に決定

国はプッシュ型支援の充実を図るため、新たに全国7箇所(北海道、東北、中部、近畿・中国、四国、九州、沖縄)に物資の備蓄拠点を整備する。既に決定している3箇所(札幌市、高知県、熊本県)に続き、本県の県立三木総合防災公園が国のプッシュ型支援の分散備蓄拠点として整備されることに決定した。

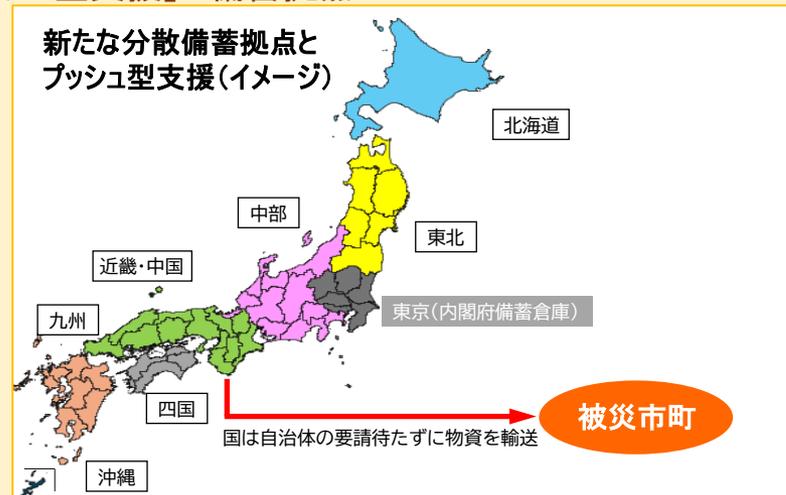
(令和7年3月28日(金)防災担当大臣定例記者会見において他ブロックと併せて発表)

## ■分散備蓄拠点

災害時に被災地から要請を待たずに救援物資を届ける「プッシュ型支援」の備蓄拠点

## ■備蓄品目及び数量(想定)

品目	数量
段ボールベッド	500個
簡易ベッド	500個
パーティション	1,000個
簡易トイレ	15台(手すり、背もたれ付)
簡易トイレ消耗品	200セット(10,000回分)
入浴支援セット	10セット(男女1セット×5)
食事支援セット	5セット



## 県立三木総合防災公園(全県広域防災拠点)

平時は県民のスポーツ、レクリエーションや、防災教育、人材育成の場として使用し、大規模災害時には全県広域防災拠点として、県下の被災地を支援

【所在地】三木市志染町

【規模】陸上競技場サイド、バックスタンド下5,000㎡

【供用開始】平成20年4月

▶ 国の分散備蓄拠点として陸上競技場北スタンド下の一部(約500㎡)を占用許可予定

